ノイズキャンセリングヘッドホン

# SE-NC31C

このたびは、パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みのうえ、『安全上のご注意』に従い正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

**取扱説明書**

## 安全上のご注意

**安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。**

- **ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
- **お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。**

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
|  危険：この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。 | 絵記号の例<br> △記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。 |
|  警告：この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。 | ⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。 |
| 注意：この表示の欄は「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。 | |

### 警告

- 耳を刺激するような大音量で長時間続けて使用しないでください。聴力が大きく損なわれる恐れがあります。 

[交通安全のために]

- 自転車、オートバイ、または自動車などを運転中には絶対に使用しないでください。運転中に使用すると、交通事故の原因になります。 
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください（周囲の音を低減するタイプのヘッドホンですので、警告音なども聞こえにくくなります）。

### 注意

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。 
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光の当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 製品内部に水を入れたり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

## 電池についての安全上のご注意

**液漏れ・破損・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

- 単4形アルカリ乾電池
- 単4形マンガン乾電池

### 危険

[乾電池が液漏れしたときは]

**素手で液を触らない**

- 電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

**必ず次の処理をする**

- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらずすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

### 警告

[乾電池について]

- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたる所・炎天下の車中など、高温になる場所で使用・保管・放置しない。
- コイン・キー・ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因となるので、直ちに医師に相談する。
- 不要になった電池を破棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理してください。

### 注意

[乾電池について]

- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

## 主な特長

- **周囲からの騒音を約90％低減し、快適にクリアなサウンドが楽しめます**
  ※ 当社独自の測定方法による数値です
  ※ 周囲からのすべての騒音がなくなるわけではありません
- **モニターボタンを押している間は周囲の音が聞き取れます**
- **省電力設計により連続約120時間のリスニングが可能です**
  ※ アルカリ乾電池を使用した場合です
- **φ14.2 mmのドライバーユニット搭載で高音質化を実現**
- **電源スイッチを切れば通常のヘッドホンとしてもご使用いただけます**
- **航空機用プラグ（デュアルプラグ）アダプター付属**

## 製品の構成

本機をお使いになる前に、すべて揃っているか確かめてください。

・製品本体

・航空機用プラグアダプター

・単4形乾電池 ×1本

※動作確認用

・キャリングポーチ

・取扱説明書（本書）

・保証書

・イヤホンチップ S、L　各2個（シリコンゴム）
※Mサイズはあらかじめ製品に装着

## 各部の名称とはたらき

① **電源スイッチ**
ノイズキャンセリング機能のON、OFFを切り換えます。

② **電源インジケーター**
電源を入れると点灯します。

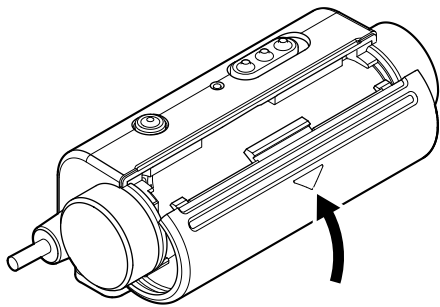
③ **モニターボタン**
ボタンを押している間、周囲の音が聞き取れます。

④ **電池カバー**
矢印（三角マーク）の位置からカバーが開きます。

⑤ **クリップ**
胸ポケットなどに固定する際にご使用ください。

⑥ **マイクロホン**
周囲の音を拾います。

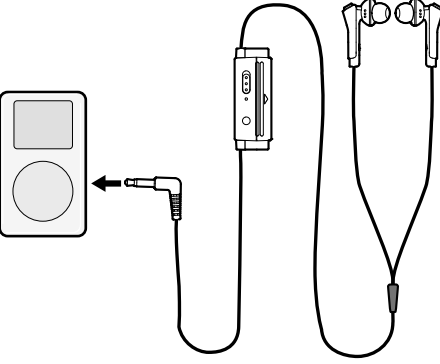
⑦ **イヤホンチップ（シリコンゴム）**
ご自分の耳の大きさに合わせてS、M、Lの中から選び、ご使用ください。

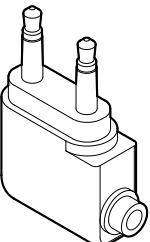
# 電池の入れかた

① 電池カバーを矢印の方向に開きます。

② 極性表示どおりに電池を入れます。

③ 電池カバーを矢印の方向に閉めます。

**■電池の交換時期**

電池が消耗してくると電源インジケーターが暗くなり、音がひずんだり雑音が多くなったりします。乾電池を新しいものと交換してください。ノイズキャンセリング機能を連続使用した場合の電池の寿命はおおよそ以下のとおりです。(周囲の温度や使用状態により、電池寿命が異なる場合があります。)

単4形アルカリ乾電池……約120時間
単4形マンガン乾電池……約60時間

**ご注意**
・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

# 使いかた

## 1. AV機器への接続

**コードのプラグ部をAV機器に接続します。**

※ 航空機のオーディオシステムに接続するときは、付属の航空機用プラグアダプターをご使用ください。

## 2. イヤホンの装着

**LR表記もしくはリングの色により左右を確認し、イヤホンを耳に装着します。**
**ご自分の耳の大きさに合わせてイヤホンチップサイズを選び、ご使用ください。**

## 3. 音楽再生時

① **電源を「ON」にした場合**
電源スイッチを「ON」にすると電源インジケーターが緑色に点灯し、ノイズキャンセリング機能が働きます。音量を上げすぎる必要もなく、音漏れの心配も軽減されます。

② **電源を「OFF」にした場合**
電源スイッチを「OFF」にするとノイズキャンセリング機能が停止し、通常のイヤホンとして使用できます。

③ **モニターボタンを押した場合**
ボタンを押している間、再生音が聞こえなくなりノイズキャンセリング機能が停止するため、イヤホンを装着したままでも周囲の音が聞き取りやすくなります。　※電源が「ON」の場合のみ有効です。

## 4. 使用後

**使用後は電源スイッチを「OFF」にしてください。**

## 5. 注意事項

- ■ **コードを抜き差しする際は、プラグ部を持って抜き差ししてください。**
- ■ **付属の航空機用プラグアダプターは、航空機によって互換性がない場合があります。**
- ■ **以下の場合、航空機内では使用しないでください。**
  - 電気製品の使用が禁止されているとき
  - 個人のヘッドホンで機内音楽サービスを聞くことが禁止されているとき
- ■ **ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域の音に対してはあまり効果がありません。**
- ■ **イヤホンチップが耳にフィットしていないと、音漏れ、低域不足、ノイズキャンセリング効果減少の原因になることがあります。ご自分の耳の大きさに合わせてイヤホンチップサイズを選び、ご使用ください。**
- ■ **イヤホンのマイクロホン部分を手などで覆うと、ハウリングが起こることがあります。このような場合は、マイクロホン部分から手を離してください。**

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、チェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のAV機器などもあわせてお調べください。
下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご連絡ください。

| 症状 | 処置 |
|---|---|
| 音が出ない | ・本機とAV機器との接続を確認する。<br>・接続したAV機器の電源が入っているか確認する。<br>・接続したAV機器の音量を上げる。<br>・乾電池を新しいものと交換する。 |
| 音がひずむ | ・接続したAV機器の音量を下げる。<br>・乾電池を新しいものと交換する。 |
| 電源が入らない | ・乾電池を新しいものと交換する。<br>・乾電池の向き（極性）が正しく入っているか確認する。 |
| ハウリングが起こる | ・イヤホンのマイクロホン部分を手などで覆っているときは、手を離す。 |
| ノイズキャンセルの効果が得られない | ・電源スイッチの位置を「ON」にする。(このとき電源インジケーターは緑色に点灯) |

# 取り扱いについて

- ■ **本機を落としたり、ぶつけたりなど強いショックを与えないでください。**
- ■ **常に良い音でお聞きいただくために、プラグ部は時々柔らかい布で乾拭きし清潔を保ってください。**
- ■ **万一異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときはすぐに電源を切り、お買い上げ店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。**
- ■ **製品を使用中、肌に合わないと感じたときは直ちに使用を中止してください。**
- ■ **本機は外部騒音をキャンセルし、快適に音楽を楽しんでいただくことを目的に設計されています。パイロット用やFAA（連邦航空局）に定められている飛行中のコミュニケーション用としては設計されていないため、本来の目的以外では使用しないでください。**

# 仕様

**■仕様**

形式・・・・・・・・・・・・・・・・・密閉型ダイナミック
ドライバーユニット径・・・・・・・・・・φ14.2 mm
最大入力・・・・・・・・・・・・・・・・10 mW／32 Ω
インピーダンス・・・・34.5 Ω(ON)、18.5 Ω(OFF)
出力音圧レベル・・・103 dB(ON)、105 dB(OFF)
再生周波数帯域・・・・・・・・5 Hz ～ 16 000 Hz
騒音抑制量・・・・・・・・・約20 dB（300 Hzにて）
電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・単4形乾電池×1
製品質量（電池含まず）・・・・・・・・・・・・約28 g

**■付属品**

航空機用プラグアダプター・・・・・・・・・・・・・×1
単4形マンガン乾電池・・・・・・・・・・・・・・・×1
（動作確認用）
イヤホンチップ S、L（シリコンゴム）・・・・・×各2
※Mサイズはあらかじめ製品本体に装着
専用キャリングポーチ・・・・・・・・・・・・・・・×1
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・×1
取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・×1

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

この製品の保証期間はお買い上げ後1年間です。普通の使用状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。お買い上げの販売店に製品とお買い上げの領収書（またはレシート）を必ずご持参ください。保証期間中および経過後のアフターサービスについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。なお、お買い上げの確認のために、必ず販売店の領収書（またはレシート）を保存してください。
当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後最低6年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
また、この製品は一般家庭用として作られたものです。営業目的で使用し故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

## ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

**商品についてのご相談窓口**

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

**カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）**

受付時間
月曜～金曜 9:30 ～18:00
土曜 9:30 ～12:00、13:00 ～17:00
(日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■家庭用オーディオ / ビジュアル商品
フリーダイヤル 0120−944−222
一般電話　044−572−8102
■ファックス　044−572−8103
■インターネットホームページ
http://pioneer.jp/support/
※ 商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHS などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

平成 22 年 6 月現在
記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。



パイオニア株式会社 〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号
Printed in China　<WRA1121-A/CN>